

# 近化若手フォーラム趣意書

一般社団法人近畿化学協会は2019年1月には創立100年を迎えようとしております。ご高承の通り、本会は単なる学界や産業界に限定されない、垣根のない化学者たちの集いであり、産官学交流を軸に建前より本音を、またサロンの雰囲気大切に諸事業を行っております。

そのユニークな活動を通して、産官学のメンバーの多彩なネットワークが構築され、それは会員相互の融和連繫を密にするだけでなく、個々人の仕事のうえに有形無形の寄与を施しております。

さて、生産効率の向上に基づく大量生産が発展のための大きな要素であった化学産業も、昨今の社会構造の変化により、新たな発展要素を見出すことを強いられています。そしてその解決法は、技術の強さを核にしたイノベーションによるブランド価値向上への取り組みの中から生み出されると考えられます。

その大いなる一助として、人脈の輪を広げて種々の情報交換が活発に行われる場を設けることが不可欠であり、人材と人脈を誇る近畿化学協会の果たすべき役割は今後ますます重要となって参ります。

そのような位置と役割を自認いたす本会は今、次代を担うべき若手研究者、技術者の会員の増強と充実を計ることが当面の課題であり、理事会、事業企画委員会および各専門部会において、その遂行に努力が払われております。

このたび、本会の事業企画委員会では、産官学の30歳台の研究者、技術者を対象に「近化若手フォーラム」を企画、開催いたすこととなりました。

(別紙をご参照下さい)

この若手フォーラムは、上記の趣旨に沿って催します本会の新しい行事で、今後継続していく中で今後の人的ネットワーク構築の足がかりとなる場を提供できればと考えております。

会員諸兄におかれましては、「近化若手フォーラム」の意図するところをご賢察賜わりますと共に前途有為の研究者、技術者をご推薦下さるようお願い申し上げます次第でございます。

2017年9月

一般社団法人近畿化学協会  
会長 江口 太郎  
事業企画委員会委員長  
西山 豊